

いつまでも安心して  
住み続けられる地域に

市民の声  
市政に届けます

5期20年の経験生かし、市民の暮らしを守ります

日本共産党・飯能市議会議員

# 新井たくみ

新飯能

2017年春季号

日本共産党飯能市委員会(042-973-1091 FAX973-1079)は、新井たくみ市議の人柄・政策・見解を発表しました。



79回一般質問に立つ

みなさんに支えられて5期20年間、市議会議員をつとめることができました。この間、すべての議会で一般質問にたち、市民要求実現のために奮闘してきました。切実な地域要求から、介護や医療など国政との関わりも質してきました。また、議会だけでなく、住民とともに行動し、病院問題や交通問題など市政を動かしてきました。みなさんの声を市政に届け、暮らしを守るために、全力ががんばります。引き続き、よろしく願います。

1955年小鹿野町生まれ。市議会議員5期20年。埼玉県職員20年。総務常任委員長、埼玉県職員組合書記次長、飯能日高労働組合連合会議長等歴任。



暮らしと営業を守るために

「お店はどうか？」と声をかけながら商店街に議会報告や署名を届けながら対話する新井市議。



原発被害の南相馬市へ

ボランティアとして、原発被災地に支援物資を届けながら仮設住宅を訪ね、行政への要望を聞く新井市議。

目標はいつも  
住民とともに

困っている人に  
いつも心を寄せて



生活相談活動

市民の悩み、困りごとの解決、要求実現のために、弁護士・税理士など専門家とも連携し、奮闘しています。



擁壁崩落現場で担当職員の説明を聞く新井市議と柳下礼子県議。



県、市の被災者支援を求め、大久保勝市長に要請(2016/10/3)

アンケートで意向調査  
いつでも住民の声を  
聞くことからスタート

病院廃止問題、国際興業バス撤退問題、宮沢湖からの西武撤退問題など難しい問題が発生したときには、住民の意向を聞くことから解決策を探ります。

この間、市立病院アンケート、交通問題アンケート、宮沢湖問題アンケートなどを実施しています。



ひたむきに

いつも、住民の声を聞く

# 「現場主義」で行動する



豪雨災害の時は、災害現場に。

大雪被害のときは孤立した集落へ真っ先に。



大雪で孤立した高山集落へ



公共工事現場で働く建設労働者の賃金や労働環境を調査



力をあわせて、市政を変える

## 新井たくみ

新井議員は問題が起こったら住民の声を聞く＝現場主義。解決のためには、国会議員・県会議員、住民と連携し行動する＝行動力。解決策を示し対応する提案力をもった議員です。これからも住民の立場で頑張ってもらいたい。  
(中藤在住:吉本茂男)

### 先進事例に学ぶ

全国の先進事例を独自に調査。交通問題では、20自治体以上を視察。



秩父市のスクールバスの住民利用



木曾町の200円バスとデマンド交通



秩父市の間伐材利用のバイオマス発電



国会議員と厚労省に要望

現場の声を  
市政、県政、国政へ

介護、医療、保育問題で、厚生労働省に行って、現場の切実な声を届けて交渉。(塩川鉄也・梅村さえこ両衆院議員らと2016/11/11)

災害問題で、柳下県議らと県土整備事務所に要請(2016/11/21)



県土整備事務所に要望



梅村さえこ、塩川てつや衆院議員と力合わせて

